日刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号（動力車会館）
電話｛（鉄電） 千葉 2935・2936番
（公） 043（222）7207番

94.4.28 No.3988

大盛況 結成15周年 東京集会 4/24

四月二十四日、一三時から、神田パンセにおいて、動労千葉を支援する会主催による「たたかう動労千葉を支援する東京集会」が開催された。

集会は、東京労組交流センター代表の三角氏の司会によりすすめられた。

まず、支援する会よびかけ人代表である高島喜久男氏より「動労千葉のようにあたりまえの労働運動をやる組合を増やすことが動労千葉を支援することだ」と参加者全員にうったえた。

つぎに、三里塚反対同盟の伊藤信晴氏より「現地闘争の勝利は動労千葉とともに闘うことだ。そして絶対に裏切らないことだ」と熱い連帯の挨拶を行なった。

つづいて記念講演として、浅田光輝立正大学名誉教授より「五五年体制が崩壊し野党がなくなった。連立政権は、労働運動を不在にしようとしている。その中で動労千葉は、あるべき本来の労働運動をやり続けている」と労働運動のありかたをしめした。

そして中野委員長より「あっという間の十五年。今、連合は、労働者側にはいない。国労は、政労資交渉・政策提言により後向き。これに対して連合は、積極的に協力している有様だ。我々動労千葉は、このような連合体制を徹底的に弾劾し、解雇撤回闘争・国鉄労働運動を中心にして連合を打倒する労働運動をつくりあげなければならない。同時に朝鮮情勢に対し、反戦闘争の強化を全力でつくりあげよう！」と力強く訴えた。この後、支援する会事務局から「動労千葉を支援する会」の現状報告がなされ、第二部へ移った。

浅田先生による乾杯で会は進み動労千葉弁護団、足立まち子成田市議、都職労、障福労、ス労自主、動労西日本、その他各界からの代表挨拶をうけ、最後に参加した動労千葉組合員が全員前に並び、代表して田中書記長、椿勇君より闘う決意を明らかにしてインターナショナルを参加者全員で合唱し、団結ガンバローで集会は終了した。

⇧後藤特執の音度でインターナショナル合唱。動労千葉を支えてくれた仲間と組合員が固いスクラム。新たな出発を誓う。

第32回定期委員会に集ろう

とき 5月28日(土)13:00～
ところ 千葉市民会館

⇨浅田先生の音度で"カンパイ"熱い交流が交された。

動労千葉を支えてくれた仲間に組合員代表の書記長がお礼する。

県内各地域集会の成功をかちとろう！

一二月中労委命令をめぐり、解雇撤回・国鉄闘争勝利の闘いは、抜き差しならない重要な段階を迎えている。

国鉄労働組合は、犯罪的な中労委反動命令に対し、政労資交渉を対置するとともに、「鉄道交通政策骨子（素案）」なる提言を発表し、「過去の経緯にとらわれず」に分割・民営化反対、清算事業団闘争勝利の闘いの旗を降ろそうとしている。

政労資交渉や「政策」提言は明らかに味方に分断をもたらし、同時に敵の土俵のなかに国労がすっぽりとはまることを国労自身が積極的に推進するという方針だ。

われわれは、この危機的状況を正しく把握し、解雇撤回・国鉄闘争勝利をかちとるために、当面、物販オルグと合わせ、県内各地地域集会の成功をかちとり、あらたな支援の地歩を固めるために全力をあげよう！